



四月三日、川越プリンスホテルにおいて、平成二十年度日本医療科学大学入学式が挙行され、二百四十九名が入学の認証を受けました。

満開の桜のもとで始まった入学式では、診療放射線学科百一名、リハビリテーション学科理学療法学専攻百一名、リハビリテーション学科作業療法学専攻四十七名一人一人の名前が読み上げられ、佐藤泰正学長の入学認証を受けました。学長式辞（別掲）、新藤理事長挨拶（別掲）の後、リハビリテーション学科理学療法学専攻の神庭悠子さんが、新生を代表して宣誓文を読み上げました。最後に、新二年生有志十名と、新生・教職員全員で日本医療科学大学の学歌を斉唱し、第二回目となる入学式を終了しました。

式には、二百七十名を超える御父母・保護者の皆様にもご参加いただき、厳粛な中にも華やかな入学式となりました。

「福祉の心」を磨け!!

平成  
二十年度

日本医療科学大学 入学式

第二期生の二百四十九名が入学

## 式辞 「自分自身のための」学習を!

学長 佐藤 泰正(要旨)



本日ここに日本医療科学大学二期生として二百四十九名の新生を迎え、御来賓、多くの御父母・保護者の皆様とともに入学式を挙行できますことは、大いなる喜びであります。

これから本学において学ぼうとする諸君は、医療の専門家を目指すわけですが、その根底には「福祉の心」がなくてはなりません。

「福祉の心」の前身は、生命の尊さを理解する心、思いやりの心、助け合いの心、自立の心ということができません。最近報道される事件・社会現象には、これらの心を失っていることに起因するものが数多く見られます。本学において、「福祉の心」を学習し、磨いてください。

現代社会に欠かすことのできない、情報化・国際化に対応した学習も勿論大切です。これらの幅広い教養を基礎として、将来の医療人としての知識・技術を学ぶことを大いに期待しております。

それらの一つ一つが「自分自身」を高め、深めるものであることをよく自覚して、これからの四年間を過ごしてください。

皆さんの成長を切に希望して、式辞と致します。



# 私たちが教えます

開学二年目にあたる本年度に新たに着任した教員を御紹介します。

- (1) 専門分野 (2) 担当科目 (3) 出身地
- (4) 新入生の印象 (5) 人生で一番うれしかったこと
- (6) これが最後の食事になるとしたら、何を食べたいですか?
- (7) 本学の学生に学んで欲しいこと、伝えたいこと、言っておきたいことは?



塚田 勇  
(学生部長)

- ① 理学療法教育 ② チーム医療演習
- ③ 山形県 ④ 素直で明るい ⑤ 城西医療技術専門学校理学療法学科第一期生が国家試験に全員合格したこと
- ⑥ 最高の魚(刺身)で最高の日本酒を飲みたい ⑦ 自分の進むべき道を忘れずに!



木之瀬 隆  
(作業療法学専攻長)

- ① 作業療法による自立支援 ② 作業

療法概論他 ③ 「篤姫」と同じ鹿児島

- ④ フレッシュユマンセミナーでは、全体に落ち着いていると感じました
- ⑤ ラマーズ法で娘が生まれた瞬間に立ち会ったこと ⑥ おいしいフランスパンとワイン、ナチュラルチーズを添えて
- ⑦ 専門書、関心のある本をたくさん読んでください。そして、友人、教員と多にディスカッションをして欲しいと思います。



伊藤 芳保

- ① 理学療法教育 ② 運動学他 ③ 福島県白河市 ④ 元気いっぱい ⑤ 尾瀬を完歩できたこと ⑥ 満洲の餃子 ⑦ 熱き心を持って欲しい。ならぬものならぬものです。



市川 真澄

- ① 核医学、放射線管理 ② 核医学検査技術学概論 ③ 埼玉県 ④ 元気で明るい学生が多い ⑤ 自分の子供が生ま

れたことと「先生の授業が良かった」と学生に言われたこと ⑥ 大好物の蕎麦と納豆それに味噌汁を並べて心ゆくまで味わいたい ⑦ 自分の頭で考え、自分の意志で決定し、自分の力で解決できる心やさしい技師を目指して下さい。



岡本 浩

- ① 臨床薬理学 ② 衛生学・公衆衛生学他 ③ 東京都 ④ まだ不明 ⑤ これから起こる予定 ⑥ 目白丸長「チャージャー」やさい(中) ⑦ 報恩感謝の精神を忘れずに社会に貢献できる医療人になって下さい。



宮村 章子

- ① 理学療法 ③ 埼玉県入間市 ④ いろんな個性の学生が集まっていますね ⑤ 本学に就職して塚田先生に再会できたこと ⑥ 気の合う仲間と居酒屋メニュー ⑦ 授業や実習など大変だと思えますが、若さと愛嬌で乗り切ってください。



## 夢の実現に向かって

連続エッセー②

高橋美智子

皆さんは今、どんな夢を持っていますか。小さい夢から大きい夢まで、様々な夢を持っていることと思います。それでは、夢を実現するためにはどうすればいいでしょうか。アメリカの心理学者のスナイダーは夢(希望)を「自分の目標に対してもっているウィルパワー」とウィルパワーの総計」と定義しています。ウィルパワーは「目標に向かう意志の力」、そして「エイパワーはスナイダーの造語で、「目標に到達するための効果的な方法を考え出す力」です。

私は皆さんに、この二つのパワーをバランス良く使いながら、困難な状況の中でもくっつけて自分の夢を失わず、一歩ずつ夢に近づいていってほしいと思います。自分の置かれた環境や状況の中で、夢の形や、実現する時期が多少変わることがあるかもしれませんが、必ず実現できると信じて、パワーを高めていきましょう。GOOD LUCK!

(たかはしみちこ・本学教授)





毎年、新入生は入学式の翌日からフレッシュマンセミナーに参加し、新たな4年間のスタートを切ります。今年の様子について、同行した大橋幸子講師の報告をご紹介します。



去る、4月4日(金)・5日(土)と新入生フレッシュマンセミナーが実施されました。1日目、

総勢276名で朝9時に川越を出発し、一路箱根へと向かいました。芦ノ湖畔にある箱根高原ホテルに到着後はコミュニケーションアドバイザー大野洋子先生のコミュニケーションセミナーに参加し、将来患者様と接することに備えて、まず「自分を知らぬこと」の大切さを教えていただきました。セミナー

ではコミュニケーションゲームや自己心理分析をまじえて、他者との関わりの中で「自分を省みる」こと、様々な「気づき」の中から対人技能を成長させていくことを勉強しました。2時間半のセミナーの後は、各学科専攻別のガイダンスとめいっばいのスケジュールをこなしながらも、夜は部屋ごとに楽しく交流を深めていたようです。2日目は江ノ島散策を楽しみ川越へと帰路につきました。大学生活スタートを実感した2日間となりました。

城西医療技術専門学校の充実発展によって開花した日本医療科学大学が、敢えて「城西」の名称を外して校名登録したのは、隣接する城西大学との徒な混同や摩擦を避け、教学の本旨に則った人材育成の大使命を具現するためであった。

そもそも「城西」という名称は、遡ること九十年前、大正七年設立の城西実務学校の校名に由来するものであって、爾来、近代日本の激動の歴史に翻弄されながらも、個性尊重の自由主義教育の大旗を掲げ続けた野口援太郎校長、戦後の荒廃の中から奮迅努力を続けて新制度の城西高等学校を盛んなら

しめた新藤富五郎校長両先生の尽力によって守り、受け継がれてきたものである。

特に、新藤富五郎校長は昭和三十五

## 本学と

# 「城西」の所以

学校法人城西医療学園

理事 坂口 三男

年に城西レントゲン技術専門学校を設立し、また五年後の昭和四十年には、水田三喜男氏の城西大学設立構想に参画して副学長の要職を務め、更に城西

歯科大学(現明海大学)、城西大学薬学部の新設事業に携わるなど、城西学園サークルの拡張充実に努めるとともに、川越に城西大学付属高校を開校して、子息の新藤宣夫現理事長にその運営のバトンを渡したのである。

新藤宣夫先生は、「城西」の本拠地である豊島区千早町の城西大学附属城西中学高等学校と城西放射線技術専門学校を校長、理事長を務める傍ら、昭和五十九年に城西医療技術専門学校を毛呂山の地に設立し、建学の精神である「報恩感謝」と「城西」の御旗を守り続けながら、今般の大学開学に繋げたのである。

日本医療科学大学 校歌

坂口 三男 作詞  
若山 望 作曲

一、  
秩父の嶺を仰ぎ見る  
櫻が丘は爽やかに  
希望は高く拡がりて  
誇り裕かに映えわたる  
光り輝く母校日本医療

二、  
高麗の流れに潤える  
寛き情は健やかに  
生命尊く敬いて  
奉仕の愛に煌めける

大いなるかな母校日本医療





平成  
20年度

# 日本医療科学大学 父母後援会総会

開催

四月三日(木)の入学式に引き続き、

川越プリンスホテルにおいて、第二回  
目となる父母後援会の総会が、新入生  
の父母を中心とした約百二十名の参加  
者の下、盛大に開催されました。

実質的に一年目となる平成二十年  
度の後援会活動の内容について、池上会  
長から詳しく説明され、予算案ととも  
に提案されました。

本年度の事業計画の骨子は、

① 文化祭・スポーツデー等への  
補助

② 学生保険への加入

③ 抗体検査の実施

④ 広報誌への補助

⑤ 卒業アルバム制作の準備

⑥ 学生間の交流イベントへの支援

の六項目で、それぞれの項目とそれに  
対する予算案が満場一致で承認されま  
した。

続いて役員改選に移り、前役員全員  
の留任と、新入生の父母の中から新た  
に四名の幹事を追加することが提案さ  
れ、これも承認され  
ました。

総会の最後に、池  
上会長から、「今後

の活動は役員会を中  
心に行っていきま

す。文化祭に父母後  
援会として参加す

るなど、後援会活動

をひろげていきたく

いので、一人でも多くの  
皆さんの参加と協力



をお願いします。」との挨拶があり、  
総会を終了しました。

## 医療人の第一歩は

### 「挨拶」から

入学式における

新藤理事長の挨拶(要旨)



新入生の皆さん、御父母の皆様、ご  
入学おめでとうございます。

新入生諸君は多くの情報を集め、家  
族や仲間のアドバイスを受けて、医療  
人としての道を選びました。医療人に

求められる第一の資質は、言うまでも  
なく知識・技能の習得であります。し  
かし、あわせて人間性に富む倫理観を

持たなければ医療従事者にはなれませ  
ん。皆さんが将来資格を得て接する人  
たちの多くは、病气などを持った諸君

よりも弱い立場の人たちです。したが  
って、諸君の人間性、人柄が問われる  
のです。

その第一歩として「挨拶」の大切さ  
を強調しておきます。先程来の入学認  
証の返事を聞いていても、元気で大き  
な声で答えていた人の方が少なかつた  
ような気がします。

これから諸君は、大学で、臨床の実  
習地で、また社会の中で多くの人々と  
出会うこととなります、その人々との

関係をよくするための第一歩は元氣  
な「挨拶」から始まるのです。

皆さんが本学の伝統を作り、有為な  
医療人として社会に巣立つために、こ  
の4年間をしっかりと過ごしていくこと  
を心から祈って挨拶といたします。

## 編集一後記

今年の新生の中には、高校生の  
時に運動やクラブ活動で素晴らしい  
成績をあげた人が数多く含まれてい  
ます。それに伴って、登録サークル  
の数も増え、それぞれの活発な活動  
が繰り広げられています。

授業・勉強が厳  
しい中での学生諸  
君の若々しい行動  
を、学園も応援し  
ます。

